

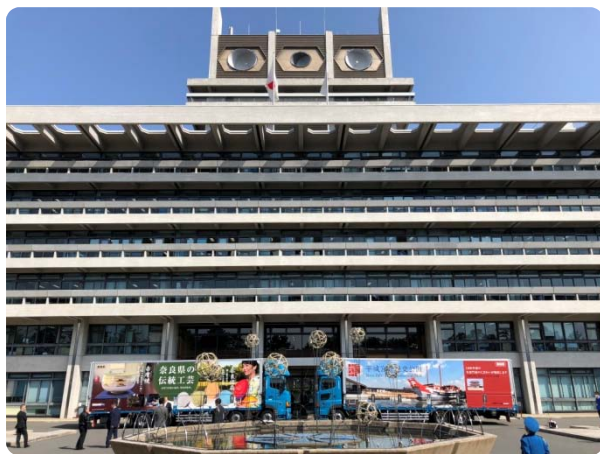
平城宮跡歴史公園号が出発！

平成30年年3月29日(木) 奈良県庁前

平成30年年3月29日に奈良県庁にて平城宮跡歴史公園オープンを記念して制作されたラッピングトラックの出発式が行われました。

世界遺産にも登録されている平城宮跡の保存と活用を通じて“奈良時代を今に感じる”空間にするため整備がすすめられており、完成した平城宮跡歴史公園を広くPRするため、大型トラックの荷台にラッピングを施しました。

また、奈良の伝統工芸である奈良団扇と赤膚焼をPRするラッピングトラックも同時にお披露目されました。計2台が全国各地を走ります。



平城宮跡歴史公園とは

世界遺産「古都奈良の文化財」の構成資産の一つ特別史跡平城宮跡を計画地にした国立公園です。歴史・文化資産の保存・活用を図る目的で整備が進められています。全体の広さ約132haのうち、朱雀大路を中心とした観光拠点ゾーン「朱雀門ひろば」が2018年3月24日に一部開園しました。今後も場所の特性に応じた施設の整備・展開が進められます。



赤膚焼 あかはだやき

県指定の伝統工芸の一つ。豊臣秀長が常滑の陶工を招いて窯を築いたのが始まりといわれている。乳白色の柔らかい風合いや奈良絵文様等が特徴。

奈良団扇 ならうちわ

県指定の工芸品で、奈良時代に春日大社の神官が重扇の形にならって作ったのが始まりとされる。江戸時代に大成し明治初頭には透かし彫り団扇が復興した。

